

地区協議会について

1 地区協議会とは？

(1) 目的

各地区に「区に意見を提案し、区政に参画する場」と「地域の課題を解決する場」をつくり、住民自治を充実させる。

区政参画

- ・基本計画、都市マスタープラン等の区の方針の説明を聞く。
- ・地区内のいろいろな意見を集約し、地区の将来の姿を区へ提案していく。

地域の課題の解決

- ・町会、各種地域団体の情報を共有し、ネットワークをつくる。
- ・地域に関することは何でも話し合える場とする。
- ・地域の日常的課題の解決策を検討する。
- ・地域で解決できることは地域で解決する。
- ・行政に要望がある場合は、意見を集約し、区へ提案していく。

(2) 性格

- ・テーマを限定せず、地域に関することは何でも話し合える常設の場
- ・誰でも参加でき、話し合われたことを誰でも知ることができ、区や地域の情報を誰でも手軽に得られる常設の場

(3) 区との関係

- ・お互いによく連絡を取り合い、対等な立場で協力し合うパートナー

(4) 役割

- ・町会・自治会を始め各種地域団体の情報を共有するネットワークをつくる。
- ・団体間の横の連絡・連携を密にする。

多様で開かれた協議会として地区の意見が集約される場とする。

- ・会議の内容をホームページで公開したり、アンケートを行うなど、広く地区の意見を聴く工夫もしていく。

地区の日常的課題の解決策を検討する。

- ・現在ある2つの課題別地域会議(「四谷のまち美化」「井戸端会議(芝生に挑戦!)」)は、地区協議会の中の課題別プロジェクトとして位置づける。
- ・話し合いの中で出てきた地域の課題は、新たな分科会や課題別プロジェクトとして、協議会で検討していく。

基本計画等、区の計画に関して、区と意見交換・提案をする。

地区の将来の姿を検討する。

- ・10年後、20年後、次世代が活躍する地区の将来像を検討する。
- ・平成18年8月を目途に検討を進め、都市マスタープランの地区別まちづくり方針を地域の立場から提案する。

(5) 特別出張所の役割

庶務・・・・・・・・・・会議場の確保、会議の記録、資料の収集、連絡等

本庁関係各課との連絡調整

検討結果の処理・・地区協議会からの提案等に関する区の処理経過、結果の説明

(6) 委員の構成

「町会」「各種地域団体」「課題別地域会議」からの推薦及び「公募委員」による。

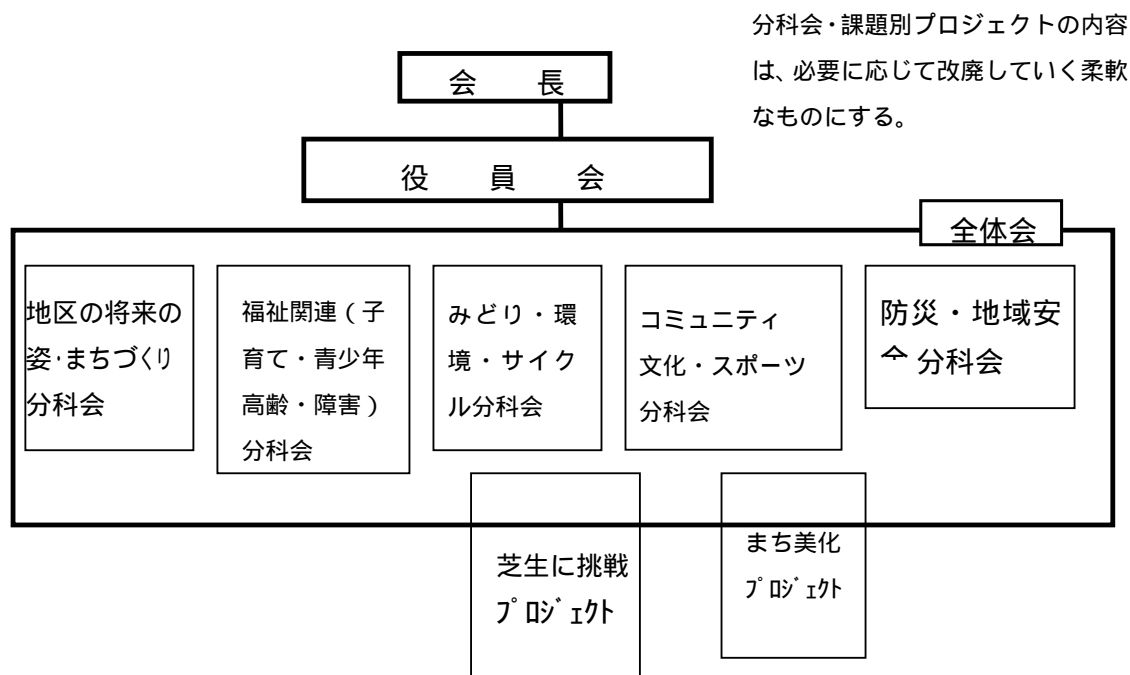
(1)の目的や(4)の役割をよく理解し、協力していただける方の参加が期待される。

町会及び地域で活動している団体から満遍なく選出されることが望ましい。

学生から高齢者まで、男女比、地域偏在に配慮した構成が望ましい。

新しい人材が入りやすい工夫があることが望ましい(公募枠を広げる等)。

2 組織構成(案)



全体会

- ・協議会の意思決定
- ・役員会・分科会・課題別プロジェクトの活動内容の報告
- ・役員を選出
- 年2回程度・・・6月(総会) 3月(分科会など報告会)

役員会

- ・会長・副会長・分科会・課題別プロジェクトのリーダーで構成
- ・地区の意見提案などの集約
- ・全体会の運営、分科会・課題別プロジェクトの活動報告、調整
- 月1回程度

分科会

- ・協議会の委員全員がいずれかの分科会に参加する。
- ・必要に応じてテーマごとに組織する。

課題別プロジェクト = 課題別地域会議のこと

- ・各会議から1名協議会に参加する。

3 委員構成(案)

町会 10名程度(町会連合会に一任)

各種地域団体 各1名

地域センター運営委員会

青少年育成会

民生委員

P T A (八校会)

スクールコーディネーター

体育指導員

清掃協力会

保護司

生涯学習推進委員

四谷地区商店会

新宿地区商店会

消防団

防災協力会

防火協会

防犯協会

交通安全協会

高齢者クラブ

課題別地域会議 各1名

公募委員 20名程度

合計 50名程度

オブザーバー

地区町会連合会、地区商店連合会、社会福祉協議会、四谷警察署、四谷消防署
医師会、歯科医師会、四谷地区幼小中学校・児童館・ことぶき館・保育園
J R、地下鉄メトロ口、地域子育て支援センター二葉、男女共同参画推進センター、
東清掃センター、東部道路公園事務所、新宿歴史博物館 等